

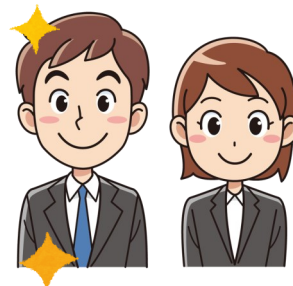
社会福祉法人 京都光彩の会 光彩だより

2022年
6月号

新任職員紹介

地域交流-西新道商店街 配食事業-

ボーナスキャンペーンのお知らせ



- ・京都市朱雀工房（就労移行支援・就労継続支援B型・就労定着支援）
- ・ワークステーション かれん工房（就労継続支援B型）
- ・西山高原工作所（就労継続支援B型）
- ・京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
- ・こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」
- ・相談支援事業所 こうさい（計画相談支援）
- ・グループホーム賀陽、山ノ内、光（共同生活援助）



巻頭言

「生きづらさに応える精神保健福祉」

ある日、某市役所から連絡があり、「役所内で、生きづらさ克服支援に関して研究しているが、日本で初めて学術誌に〈生きづらさ〉を発表したのは、加藤だと北大の先生が書いています。」とのこと。調べると、確かに私のことで、一九八一年の「精神神経学雑誌」に、「街で患者として暮らすものの生きづらさ（主体的社会関係形成の障害と抑圧）とPSW機能」という論稿が載っています。精神科病院勤務九年目の頃です。当時、早期退院を探り、自ら治り癒す過程を、病院最寄りの駅前のアパートで組織的に支援していました。

求めたのは、生活が豊かに面白くなることです。そのためには、ハード面では〈生活費と住居と職場と仲間〉、ソフト面では、話しあう〈能力と相手と環境〉の確保が重要です。話し相手には自分も含み、時には自分を甘やかす、あやすことも大切です。ワーカーは、〈固有な関係〉を結び、〈生き方の選択〉を利用関係の中で支援すべきと書いています。気負っていましたが、患者さんから教えられた私の原点です。

今日、人を能力主義的に捉える生きづらさは強くなっています。私たちは毎日、大量のデジタル情報に囲まれ、テレビに映る戦争の惨状の直後にお笑い番組を楽しんでいます。思考が細切れになり、心を開いて人や世界と出会えなくなっています。過酷な状況にありながらも、人の痛みを受けとめ信頼しようとする利用者の生きる姿から学び、差別と貧困の主體的克服の支援に携わる私たちは、併行して深いエコ環境と親しみ、自己の弱さに気づき、みずみずしい感性と愛する力の回復に努めねばなりません。

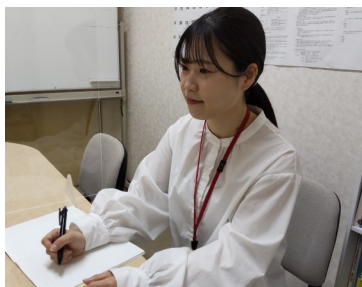
社会福祉法人 京都光彩の会

理事長 加藤 博史

新任職員紹介

京都光彩の会の新しい職員を紹介します！

【インタビュー内容】①事業所名 ②幸せを感じる時はどんなとき？ ③自分の性格を一言で表すと？



うえだ まゆ
植田 真由

- ① 京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」・相談員
- ② 私が幸せを感じるのは、甘いものを食べているときと、友人と過ごしているときです。休日にカフェでケーキを食べながら友人と話したりすることは特に幸せな時間です。
- ③ 性格を一言で表すと優柔不断です。カフェでケーキを決めるときも迷った上に両方買うタイプです。どんなことでもじっくり検討してよりよくしていきたいという思いから、決断が慎重になってしまう部分があるのですが、友人から「人の話もじっくり聞いて、いろいろな可能性に配慮するようにしているよね」と言ってもらってから、長所としてとらえていて、今後も磨いていけたらと思っています。

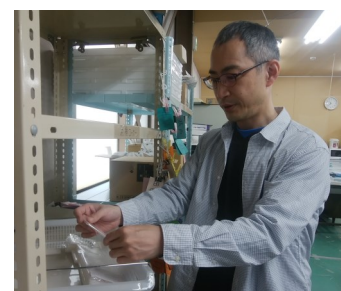
初めてのことばかりでわからないことも多く、至らない点もあるかと思いますが、利用者さんに寄り添える支援員として成長できるよう努力していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



うへはら すぐる
上原 優

- ① 就労継続支援B型事業所 ワークステーションかれん工房・職業指導員
- ② 自分が楽しいと思ったときや嬉しいと思ったときが幸せを感じている瞬間です。例えば、友人と遊んだり話をしたりしている時間はとても幸せな時間です。中には小学校の頃からの友人もあり、長い付き合いなので色々なことを話すことができストレスの解消につながっていると思います。
- ③ やる時はしっかりやる性格だと思います。

2月の中旬ごろから週に何度かワークステーションかれん工房で働かせていただいて、4月から正式に入職させていただきました。まだまだ慣れないことも多く、気が付いたら日々が過ぎているような状態です。大学を卒業したばかりで、現場での経験も社会人としても浅く、わからないことも多いですが、精一杯努力しよりよい支援を行っていけるようになりたいと思います。よろしくお願いいたします。



すずき けいじ
鈴木 啓史

- ① 就労継続支援B型事業所 西山高原工作所 生活支援員
- ② 私は、歴史に触れ自然を感じることが好きです。特に、城や神社仏閣、海や山へ行ったときに幸せを感じます。海辺や山の中にある城や神社仏閣は最高ですね。
- ③ 性格については思慮深いところがあると思っています。何をするにも石橋を叩いて渡ることを好みます。特に、高価な品物を購入する場合（例えばスマホなど）、その品物のスペック、値段、耐久性、生産国など色々な情報を収集して費用対効果の一番良いものを総合判断します。総合判断に満足して結局品物を買わないこともあるくらいですが、この思慮深いところを今後の仕事に役立てたいと思っています。





地域との共同事業のご紹介



西新道錦会商店街・朱雀工房・かれん工房

当法人の「朱雀工房」と「かれん工房」は、毎週金曜に、「西新道錦会商店街」さんと協働で、西新道商店街のお店や商店街の近くに住んでおられる地域の方に弁当(昼食)を作り、配達を行っています。

今回はこの事業の歴史や、現在どのように3者が協力して事業を行っているかご紹介したいと思います。

西新道商店街について ～紹介～

- ・組合加入数は50店舗あり、夏祭り、小学校との交流、相談会や落語会等催されています(コロナの影響で変更有)。
- ・映画のロケ地になったりテレビ番組で紹介されたりもしています。



「当時の会食会場の様子」

事業の歴史

- ・この事業は平成11年に西新道商店街の地域にあった配食ボランティアグループ「地域福祉を考える会」さんが地域貢献として会食(昼食)サービスを考案され、当法人に調理、配膳等のお声掛けを頂き共同事業として始まりました。
- ・当時、30～40名の近隣住民の方が食事や喫茶を利用され、交流の場として喜ばれていました。会場に来ることが難しい方にはご自宅等へ配達していました。



「平成初期の商店街」



お味噌汁付(税込600円)

近年の状況

- ・近年スーパー、コンビニ、宅配業者が増えるなどの時代の変化や、お昼時にお店や自宅を離れるのが難しい等の事情があることなどから配達という形で行っています。
- ・商店街の食材を使用して作ることで商店街の活性化につながる事、障害のある方が地域とつながり仕事ができる場として23年続けています。

三者の役割分担 ～お弁当を配達するまで～

商店街

注文の取りまとめ、食数報告、食材の用意、お客様の相談対応、精算など

朱雀工房

前日清掃(就労に向けた体験実習として実施)、当日配達

かれん工房

献立作成、食材注文、前日準備(材料と商店街に返却された弁当箱の受取、仕込み)、当日調理、当日配達、回収した弁当箱の洗浄



従事されているメンバーさんの声など

- ・調子を整えて元気にお弁当を作っていきます。
- ・雨の日はカッパを着て弁当や汁物が濡れたりこぼれたりしないように、気を付けています。
- ・お届けするときはお客様に聞こえるように大きな声で挨拶するよう心がけています。
- ・商店街の人は皆さん優しい人ばかりでとてもうれしいです。



「かれん工房厨房での弁当作り」

これからも地域の方々とつながりを持ち続けていけたらと思っています。

